

清水の

豪援隊かわら版



清水ヒデキ

豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。



Caffe Silipo

3/54 Bailey Crescent,
Southport, Qld 4215
Warehouse & Espresso Bar
(07) 55 280 613

Mobile 0414 6300 30

richard@caffesilipo.com.au

Web www.caffesilipo.com.au

Trading Hours

Mon. to Fri. 7am - 3pm
Saturday 7am - 12.30pm
Sunday Closed

極上のコーヒーを味わいたい方にお勧めのお店 **Caffe Silipo** !
コーヒー好きのオーナーのリチャードさんが厳選したコーヒー豆で入れてくれる1杯で、ホット一息。サウスポートにある **Espresso Bar Caffe Silipo** は本当に美味しいコーヒーを、味わいたい方には是非、お勧めです。カフェで一息ついた後は、気に入ったコーヒー豆を購入する事もでき、コーヒーメーカーなどの販売もしています。コーヒーメーカーご購入の方に、家で美味しいコーヒーを作れるようにトレーニングコースもあり、また、4段階のレベルに分かれたバリスタ資格を取る為のコースもあります。
コーヒー豆はもちろん、とっても可愛いコーヒーカップ、チョコレートなども販売しており、オンラインショップで購入できます。忙しい方の為に、配達も可能です。
是非、一度、行ってみてください。

HPアドレス : www.caffesilipo.com.au

<今月の一言>

Landslide victory
地滑りの勝利



<今月の視点 その1>

3月の大きな話題と言えば、何と言ってもクィーンズランド州議会の選挙でした。自由・国民連立党の圧倒的勝利に終わりました。特に労働党は選挙前に57議席であったのが、恐らく7議席ほどになってしまう大敗。そんな中、こんなジョークも。「クィーンズランド労働党とトヨタエスティマの違いは?」「エスティマの方が席数が多い。」(注: 実際はエスティマも7シートです。)

<今月の視点 その2>

この大敗を受けてもちろんブライ前州知事は引退。一応サウスブリスベンで、労働党のわずかな議席中の一議席を確保したのですが、野党議員として続けるより州知事として引退した方が年金がいいそうです。ちなみにその年金はこれから死ぬまで毎年15万ドル(約1200万円)。政治家としての意地よりも実を取った。

<今月の視点 その3>

今回のクィーンズランド州議会の選挙結果を受けて、ギラード首相はキャンベル新州知事とは党を越えて、いろいろ共通点があるので、今後一緒に働けることが楽しみとコメント。思えば、選挙活動中はキャンベル氏が、知事になったら賄賂や汚職が蔓延するとさんざん言っていたのに。さすがは政治家。

<今月の視点 その4>

このキャンベル新知事、89議席中78議席確定(3月31日現在)を新与党にもたらした。ブリスベン市長時代から愛称「can do キャンベル」。何でも can do 市長として人気も高かった。新知事としてどこまで can do できるか今から注目である。

<今月の視点 その5>

ラッド前首相を程良く追い出したと思ったら、クィーンズランド州議会選挙で大敗、支持率も急降下。支持率が高い時には、素直に喜ぶが、支持率が下がると支持率と政府の能力は別だと主張する政治家はどこの国でも同じ。

<今月の注目記事>

Migrant Worker in Brisbane underpaid \$5,000
(Migration Alliance Newsletter 13 March 2012)

あるレストランで働いていた日本人女性が最低賃金以下の給料しかもらえないとして、苦情申し立てを行いました。最低賃金時給\$18.43のところを約\$10の支払いだけであったそうで、半年の間に\$5,355の支払い不足が生じたとした訴えです。オーナーも問題が発覚した時点で、ただちに不足分の支払いを行いました。担当オンブズマンは外国人労働者という弱い立場に付け入ったあつてはならない行いであったとし、刑事的責任を追及することも検討中ということです。もし、オーナー側に責任が認められた場合には Fair Work ガイドライン違反に対して、それぞれ最高\$33,000の罰金、そしてオーナー自身も\$6,600の罰金を課せられることになる可能性があります。今回の件では、最高\$79,200の罰金が課せられる可能性があるということです。計算ミス等は起こりうるのですが、最低賃金を支払わないということが計画的に行われている場合には、浮かせた賃金以上の罰金が課せられますので、外国人労働者を雇うビジネスオーナーの方はよくよくご注意ください。最近、ビジネスビザを持つ労働者を雇うビジネスに対して、移民局が監査を行うケースが増えているようです。

<今月の注目記事>

Huawei: we're no risk

2012年3月27日付 Financial Review

Huawei という中国の通信機器会社がオーストラリア政府の進めるナショナル ブロードバンド ネットワーク (NBN) に対して部品等の受注の入札、ならびにプロジェクトの参画を求めていましたが、オーストラリア政府がこれを止めました。基本的には中国の企業がオーストラリアの国家事業に関与することは国としてリスクがあるという判断の元です。これには、各方面から賛否両論の意見が上がっておりますが、それと同時に同社から接待を受けて中国旅行に行ったり、同社の役員として招かれている元政治家のリストも記事には記載されておりました。こういった国家事業等に関しては、やはりこうした動きが起こるのはどこの国も一緒ですね。しかし、現在どちらかというと中国との関係を重んじる雰囲気のアオーストラリアでは、また今後どのようにひっくり返るか、そして今後の中国とオーストラリアとの関係がどのように進展していくか、目が離せません。

<今月のへえー！>

文・塩澤真樹(C-side) 3月6日付け日刊アメーバニュースより

マイナビニュースの「本音ランキング」の「サザエさんで気になっていること(詳細は下記関連リンク参照)」女性編の1位は、サザエさんとマスオさんの馴れ初めだった。知っているようで知らない2人の過去の真実は……という、実はお見合い。ただ、出会った瞬間にマスオさんはサザエさんに一目ぼれしているので、ある意味、恋愛結婚と呼べるのかもしれない。

一方、波平さんとフネさんの出会いは、いつ、どんなふうなものだったのだろう。現在、54歳の波平さんはフネさんと結婚して28年。フネさんは52歳なので、波平さんが26歳、フネさんは24歳で結婚したことになる。

ちなみに、マンガの設定では波平さんは明治28年生まれで従軍経験がある。また、フネさんもマンガの中で従軍看護婦をしていたと主張している。つまり、2人は戦地で運命的な出会いをした!?のかと思いきや、実はこれ、フネさんの真っ赤な嘘。「戦友と再会したから」という言い訳で深夜まで飲んでいた波平さんへのあてつけで、「従軍看護婦時代の先輩と思いがけず再会したから」と嘘をついて、女友達と出かけようとしただけなのだ。

では、2人の本当の出会いのきっかけは？ 正解は、マスオさん&サザエさんと同じくお見合い。ワカメちゃんは両親にロマンチックな恋愛結婚をしてほしかったらしく、「母さんは昔、看護婦さんで父さんと病院で出会った」という嘘をついたことも。2人の出会いはドラマチックではなかったけれど、3人の娘や息子、かわいい孫にも恵まれた波平さんとフネさんは幸せなのだろう。

<今月のジョーク！ その1>

地獄に1人のエンジニアが送られてきた。めっぽう手先が器用な男で、長年の酷使でポンコツ化していたさまざまな拷問道具を修理するわ、血の池の自動温度調節システムを開発するわ、魔王の体重で折れかけていた椅子の脚まで補強するわと大活躍。「これはいい住人が来た」とほくほく顔の魔王のもとに、天国の神から連絡が入った。「エンジニアはこちらに来るべき男。手違いなので至急送り返されたし」魔王が冗談じゃないと断ると、激怒した神から「法的手段も辞さない」との最終通告が。魔王はニヤリとほくそえんで、回答を送った。「やれるものならやってみろ。弁護士は全員こっちにいるぞ」
(ジョーク集より)

<今月のジョーク！ その2>

コンビニでのエピソード

天然の新人学生バイトに50過ぎの男性客がレジ横のフランクソーセージを注文。おそらく、レジ袋がいらないという意味で客が「そのままでもいいよ」と言ったんだが、新人バイト君は何をおもったのかトングでソーセージを掴みそのまま客へ「はいどうぞ」といって渡した。

10秒の沈黙後ソーセージをくわえたまま会計する客に無邪気なバイト君。隣でつり銭チェックしていた俺は腹がよじれるかとおもった。

(ジョーク集より)

<今月のジョーク！ その3>

最後のクリームパン

俺には90のじいさんがいた。先月癌で入院し、闘病中だったが昨日あることを言われた。「死ぬ前に。。。クリームパンが食べたい。。。」俺はすぐにコンビニへ走り、クリームパンを買って戻ってきた。それをじいさんに食べさせると、一口食べたとたん死んでしまった。何よりも安らかな顔だった。「死ぬ前に食べれて幸せだろう。。。」と思い、かじりかけのクリームパンを見ていると、クリームにとどいていなかった。

(ジョーク集より)

<今日の商売とビジネスに役立つ格言>

『仕事には知恵も才能も大事。しかし、より大事なものは平凡、些細なことを疎かにしない心がけです。』

(松下幸之助)

『だめでもやっていたら、必ずできる。やめれば、永久にできぬ。ただそれだけのことさ。』

(城山三郎)

このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！



ALCビザコンサルタント

QLD州以外の方にも、ご利用しやすくなりました！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite7, 155 Varsity Parade Varsity Lakes QLD 4227
シドニー事務所 住所: 24 Lewis Way Newington NSW 2127

電話: 1300 365 811, +61-7-5630-6505, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

E mail : info@alcvisa.com Website : www.alcvisa.com

東京事務所 (担当: 西川・松本)

〒170-0013
東京都豊島区東池袋
4-25-12 池袋今泉ビル 6F

電話: +81-3-3985-6003
Fax: +81-3-3985-6009